

令和2年度 東京都立板橋高等学校 学校経営計画

東京都立板橋高等学校長
西島 宏和

1 目指す学校像

本校の教育目標

- ① 個性や能力を伸ばし、生徒一人一人の自己実現を援助する。
- ② 自主性を大切にし、実行力と創造力に富んだ生徒を育てる。
- ③ 健全な心身の成長を促し、社会的責任を自覚した生徒を育てる。
- ④ 学ぶ喜びを体験させ、生涯にわたって学ぶ意欲・態度を培う。

教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。

2 中期的目標と方策

「勉学・部活動の両立」

勉学及び部活動に対して意欲的に取り組み、学校生活に対して充実感を持つ。

「学びの基盤」プロジェクト研究協力校として、「読解力」及び「自ら学ぶ力」を育成する。

- ① 「確かな学力」向上プログラム－教科主任の活用、教科会の充実
- ② 「豊かな人間性」育成プログラム－社会貢献・地域貢献の推進
- ③ 「健康・体力」向上プログラム－部活動・特別活動等の充実

生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼され、地域に貢献する人間を育成する。

分掌（プロパー）が主体となり、学年・教科等と連携し、学習指導・生活指導・進路指導の徹底を図る。

「チーム板橋」を構築し、教職員が一体となった組織的な指導体制を推進する。

3 今年度の取組目標と方策

各組織	教育活動の目標と方策	重点目標と方策	数値目標 (前年度実績)
学校経営	・企画調整会議・主幹会議の活性化 (ミドルマネジメント) ・「チーム板橋」の構築	・教職員の情報の共有化 ・分掌、学年、教科間の連携強化	
教務部	・学習習慣の確立 ・授業力向上に向けた取組 ・教員相互の授業見学 ・生徒による授業評価の実施	・生徒に学習習慣を身に付けさせる ・教科と連携した週末課題を課すことによる自主学習時間の伸長 ・学んだことを活用させる授業の展開	・自主学習時間1日1時間以上60%以上 (1年66.2%、2年65.1%、3年60.7%) ・教員の自己評価70%以上
生徒部	・基本的生活習慣の確立 ・身だしなみ指導の徹底 ・規範意識の向上 ・安全教育(生活・交通)の推進 ・学校に対する帰属意識の醸成 ・部活動の活性化	・遅刻指導及び挨拶指導の強化 ・身だしなみ(頭髪・化粧・服装)指導の強化 ・新しい施設を活用した部活動の推進	・遅刻者6.0%以下 (1年2.6%、2年5.3%、3年5.9%)

進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・系統的なキャリア教育の推進 ・個々の生徒に応じた進路指導 ・第一志望の実現 ・大学入学共通テスト受験促進 ・進路の手引きの充実・活用 ・上級学校説明会への参加 ・進路ガイダンス、個別相談の充実 ・同窓会と連携した講演等による職業観の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年と連携した、組織的かつ系統的な進路指導 ・大学入試一般受験の促進 ・「都立高校生のための社会的・職業的自立支援プログラム事業」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・4年制大学進学率40%以上(32%) ・日東駒専以上現役合格10名以上(5名) ・進路未決定率10%未満(10.1%) ・自立支援教育プログラム活用1.2年6回(1年4回、2年2回)
保健庶務部	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康づくりの推進 ・校内外の環境美化 ・教育相談体制の充実 ・安全教育の推進(災害安全) ・社会貢献の推進(奉仕体験活動、PTAとの連携) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医との連携強化 ・新校舎における美化体制の構築 ・関係機関と連携した防災教育の推進 ・地域清掃の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・上級救命講習1学年生徒全員受講(26~30年度全員受講)
学年	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌・教科と連携、きめ細かい指導 ・生徒及び保護者への丁寧な説明 ・在り方生き方を考えさせる ・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大学年会の充実 ・自習室の活用促進 ・ポートフォリオ、手帳の活用 ・教科と連携した週末課題を課すことによる自主学習時間の伸長 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室開放180日以上(1年20日、2年20日、3年25日)
教科	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における授業改善・学力向上 ・体力・運動力の向上 ・教科会の充実 ・ICT機器の活用 ・英語教育の改善・充実 ・主権者教育、消費者教育の推進 ・講習や補習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダードに基づく学力調査の実施 ・生徒による授業評価の検証 ・授業以外の講習や補習の充実 ・大学入試改革に対応した英語教育の充実 ・学習課題(宿題)の徹底と学習習慣の確立 ・学んだことを活用させる授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部模試GITZ:C2以上(国・数・英) ・学力調査得点50%以上(理・社) ・教員の自己評価70%以上
学校全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの基盤」プロジェクト研究協力校としての取組 ・「学校における働き方改革推進プラン」に基づく「ライフ・ワーク・バランス」の推進 ・服務規律の遵守(体罰根絶) ・いじめ総合対策及び自殺総合対策大綱に基づく対応 ・募集、広報活動の充実 ・情報発信の工夫・改善 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 ・地域に開かれた学校づくり ・板高シンポジウムの充実 ・文化・スポーツ等特別推薦入試の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの基盤」プロジェクトを活用した基礎学力の向上(読解のプロセスを取り入れた「読解力」及び教科の本質的な問いについて考えさせることによる「自ら学ぶ力」の育成) ・業務を精選し、その効率を上げ、勤務時間、各種会議時間を縮減 ・サービス事故防止研修の充実 ・いじめの未然防止、早期発見・対応「いじめ対策委員会」を核とした取組 ・年3回のアンケート実施 ・学校説明会、個別相談会の充実 ・ホームページの更新促進 ・ランドデザインに基づく、新教育課程の完成、授業計画の検討 ・生徒の自尊感情を高める取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の在校時間、1日11時間以内、週60時間以内 ・サービス事故ゼロ ・入選一次学力検査倍率1.40倍(1.47倍) ・塾訪問数100塾以上(130塾) ・ホームページ更新回数200回以上(190回)
経営企画室	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる経営参画 ・適正な予算執行 ・教育環境の整備・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律経営推進予算の適正な編成及び執行 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律経営推進予算の一般需用費センター執行割合60%(59.3%)